



## 寄り添う姿勢を貫く



神奈川県議会議員

ともかず  
**さとう知一**



予算委員会

コロナ禍の2020年、県議の令和2年期末手当（6・12月期）減額措置等により1億725万円を減額補正しました。減額した経費は、新型コロナ医療福祉応援基金に積み立てて神奈川県のコロナ対策に活用しました。

### 身を切る改革

議員自ら自分の報酬や

議員定数を大幅にカットし、身を切る改革を実践しています。生活費高騰の中、厳しい生活を強いられる県民に寄り添う政策を実現して参ります。

### 624万円返上

私達県議団は報酬返上が法的に可能となる迄ひとりあたり月13万円、年156万を寄付にあて

受取りません。さとうは4年間で合計624万円を返上（寄付）します。併せて議員定数の削減についても更に提案します。

### まずは100万円

（公財）世界子ども財団に対し、佐藤個人として100万円を寄付（7月26日）しました。同財団は、子供たちへの教育と医療、スポーツを中心に支援する活動を展開しています。厚木市・愛川町・清川村選挙区内への寄付は公職選挙法で禁じられ

ています。寄付は神奈川県維新の会への届出・了承を経て決定し実施します。

### 日本維新の会

前期4年間は「無所属」でしたが今期から「日本維新の会」の所属です。日本維新の会議員団団長（会派代表）、神奈川県維新の会（県連）副代表に就任し、維新の会の政策実現に向け走り出しています。議会では防災警察常任委員会に所属しています。委員等に所管しています。県警察、防災対策、危機管理等を所管しています。



伊左次美江

いさじよしえ

日本維新の会 衆議院神奈川16区  
（厚木・海老名・伊勢原）支部長

東京芸術大学卒業のオペラ歌手。厚木・海老名で、童謡・抒情歌を歌う会を主催。コロナで衰退した文化・スポーツを蘇らせ、わかりやすい政治を実現します。

10月22日 動物フェスティバル  
わんわんパトロールの皆様と



（公財）世界子ども財団  
（土屋恵三郎理事長）に  
100万円を寄付



神奈川県議会議員 さとう知一は、いさじよしえさんを応援しています



ご意見はコチラ



第79号

## 県議団「代表就任」



記者会見



清川村

### 愛川町一般功績者表彰式



佐藤知一 厚木生まれ厚木育ち 1970年1月生まれ 53歳 厚木市消防団/厚木青年会議所シニアクラブ会員/2児の父 高校卒業と同時に独り立ち。調理師として働く。政治家を目指し、30歳で慶應義塾大学に入学。34歳で早稲田大学大学院入学。大学3年時に厚木市議会議員初当選（2期目副議長に就任＝歴代最年少）。現在、神奈川県議会議員4期目 日本維新の会 県議団団長/神奈川維新の会(党県連)副代表



維新県議団団長に就任し、政策の要「政調会長」には女性の一期生議員を大抜擢しています。県民利益の最大化に務めます。本会議追悼演説

11月24日の本会議では故川本学議員(享年51歳)逝去報告の後、弔詞贈呈を議決。その後、県議会を代表し、日本維新の会議員団の松川正二郎議員が追悼演説を行いました。

県議会議員 **ともかず さとう知一**

[sato-tomokazu.com](http://sato-tomokazu.com)

厚木市寿町1-2-3-101 (電話：070-6407-3910)

これまででも議会の場で厚木市と愛川町、清川村の問題を取り上げ、連携の必要を主張しています。さとう知一は、県議会初当選時より県会本会議質問で県立煤ヶ谷診療所(清川村)を医師不足対策の最後の砦と訴えてきました。厚木市・愛川町・清川村エリアの小児二次救急医療についても一番多く取り上げ、救急医療機能が低い地域、小児科医師不足について問題視してきました。愛川町や清川村の山間部において斜面崩落による道路損壊もいち早く県議会本会議等で、対応を迫りました。

これまででも議会の場で厚木市と愛川町、清川村の問題を取り上げ、連携の必要を主張しています。さとう知一は、県議会初当選時より県会本会議質問で県立煤ヶ谷診療所(清川村)を医師不足対策の最後の砦と訴えてきました。厚木市・愛川町・清川村エリアの小児二次救急医療についても一番多く取り上げ、救急医療機能が低い地域、小児科医師不足について問題視してきました。愛川町や清川村の山間部において斜面崩落による道路損壊もいち早く県議会本会議等で、対応を迫りました。



さとう知一登壇 県議会予算委員会

### 議会質疑(厚木・愛川・清川)

- 令和3年 新型コロナ特別委員会
  - ▷厚木・愛川・清川/地域医療神奈川モデル
- 令和3年 総務政策常任委員会
  - ▷県央地域県政総合センター
- 令和2年 国際文化観光スポーツ常任委員会
  - ▷厚木・愛川・清川の観光事業
- 平成30年 総務政策常任委員会
  - ▷清川村子育て世代型村営住宅
- 平成28年 総務政策常任委員会
  - ▷宮ヶ瀬湖周辺地域活性化に向けた取組
- 平成27年 予算委員会(テレビ放映)
  - ▷厚木市・清川村消防広域化支援
- 平成25年 本会議質問
  - ▷長期間生活道路通行止め・煤ヶ谷診療所
- 平成25年 環境農政常任委員会
  - ▷農作物への鳥獣被害
- 平成24年 本会議質問
  - ▷小児二次救急医療・愛甲郡への支援
- 平成24年 震災対策特別委員会
  - ▷厚木・愛川・清川ごみ最終処分
- 平成24年 地方分権・行財政改革特別委員会
  - ▷清川村の県立煤ヶ谷診療所を残せ
- 平成23年 震災対策特別委員会
  - ▷清川村・愛川町農作物風評被害防止

「さとう知一」は世襲の政治家でもなければ官僚や公務員の出身でもありません。高校卒業時から海外経験をし、調理師をしながら、スリランカに職業訓練校を建てる活動等を行いました。当時、未熟な英語を駆使し、留学生

への支援も行いました。佐藤知一の市議会選挙初立候補は「29歳」の時でした。初挑戦は落選しましたが29歳で大学受験に挑戦し30歳で大学生になりました。さとう知一は、「高校卒業から12年遅れて大学へ進学し学び直しました。慶応大学の3年生時(33歳)に市議会初当選しました。「学び直し」「再チャレンジ」は佐藤知一のモットーです。「やり直し」を応援します。

### 貫く「雑草魂」

さとう知一は、タウンニュースへの寄稿を長く続けています。市議時代は年6回、県議就任後は隔週で寄稿しています。20年間継続しています。

### 学び直し・再チャレンジ

への支援も行いました。

### 30歳で大学へ

佐藤知一の市議会選挙初立候補は「29歳」の時でした。初挑戦は落選しましたが29歳で大学受験に挑戦し30歳で大学生になりました。さとう知一は、「高校卒業から12年遅れて大学へ進学し学び直しました。慶応大学の3年生時(33歳)に市議会初当選しました。「学び直し」「再チャレンジ」は佐藤知一のモットーです。「やり直し」を応援します。



18歳から家を出て働きはじめました